

2013年 観光情報論

6月4日



第7講 画素数と画像の縮小・Manchester

Manchester



マンチェスターは... 都市のミュージアム「URBIS」は**復興計画の中心施設**としてつくられた。「都市の新しい文化を知るための場」として、展示、ワークショップやシンポジウム、パフォーマンスなどのイベント、カフェの営業、まちや施設のガイドツアーなど多岐にわたっている。URBISは都市を、特に社会現象としての側面を中心に取り上げ、そこで生活する人々を大切にしながら活動を行っている点に特徴がある。

見過ごされがちな**弱者の視点**や利害関係の異なる人々との対話を重視し、都市生活に含まれる社会問題に焦点を当てながら、都市の面白さをアピールし、人々が**気軽に、自由に立ち寄ることのできるスペース**として運営されている。

また、マンチェスターには、**CUBE**という施設がありURBISとは対照的に都市・建築の展示を行っている。これらの機関はソフト/ハードという相互に補完的な役割を果たしながらマンチェスターの都市を支えていると言える。URBISはシビックプライドのモデルとして最も注目すべき先駆事例のひとつだと言える。(Urasaki)



Manchester

これまでの事例では、建物の経過を市民とともに歩んだり、観光の手段として使うことなどを目的とした様々な施設を見てきたのだが、今回も視点の違う新しい発見であった。

市民や観光客を魅了し、興味を持たせるような建築のデザインもそうであるが、なにより、社会的に人々の活動を中心としたミュージアムであるということが面白いなと思った。

身分など異なるさまざまな人々が、都市に生きるということはどうであるかを議論する場、仕事を知らない子供や移民など社会的に弱い立場にある人たちのためのワークショップの場を作ることによってまさに都市に誇りを持つことが出来るだろうとおもった。緑地に囲まれた景観もすごい良かったです。

(Urasaki)



Manchester

1996年、マンチェスターに事件が起きた。爆弾テロ事件が起きたのだ。幸い死者は出なかったが都心部の被害は甚大だった。しかし、このテロ事件が産業の衰退とともに人口が減少し様々な都市問題を抱えていたマンチェスターを再生させたといっても過言ではない。国家を挙げての大規模プロジェクト「マンチェスター・ミレニアム・プロジェクト」は始動した。そこでプロジェクトの中心施設としてURBISが建設された。横にはカテラドル広場と呼ばれる芝生の公園も作られた。1階は地元のテレビ局・2階から5階はすべて多目的な展示ができるスペースとなっている。様々なテーマで展示することによりURBISでアーティストたちが出会い新たなコラボレーションが生まれる。また社会的に弱い立場の人が集まる場所にもなっている。そして市民のあるべき姿について議論し、共通の認識を見つけていくというスペースになっている。そしてマンチェスター市民のプライドを世界に発信している。様々な立場の市民が交流出来、くつろげる場としてURBISは存在している。



Manchester

URBISはマンチェスター市民の市民による市民のための施設だと感じた。今までのシビックプライドは市民と観光客両方を意識した政策が多かった。しかし、マンチェスターの「マンチェスター・ミレニアム・プロジェクト」は市民を一番に考えた政策だ。移民や裕福でない人々など社会的立場の弱い人々にも目を向け、さまざまなプログラムを試みている。URBIS内にある地元テレビ局もマンチェスターのことを中心に制作しているだろう。今までのマンチェスターのイメージが大きく変化したシビックプライドだった。都市の面白さを放出しながら、人々の憩いの場となっているURBIS。様々な立場の市民を取り巻く素晴らしい政策がマンチェスターでは行われており、日本も参考にすべきだと感じた。(Fukuzawa)



Manchester

テキストで見るURBISの外観はとてもユニークで、その公共広場に人々が集まっている様子が印象的でした。また、その施設の中ではテロに関する展示が行われており、小学生によって作成された「**Every cloud has a silver lining**」、悪い事の後には必ず良い事が待っているという意味の作品や、テロ当時についてのインタビュービデオの映像が流されているという活動から、この都市のテロからの復興への様子を知り、この都市の持つテロへ屈しない気持ちと、**マイナスからプラスへまちを動かすパワー**に驚きました。(Kawamura)



Manchester

これまでの都市計画とは違い今回のマンチェスターで明確な要素がひとつあった。それは、プロジェクトを行う上で、どういった人を対象、つまりターゲットとしているかである。そこで主なターゲットを25歳以下の若者、エスニックなどの移民や、一人で子育てをする親やあまり裕福でない人々など、社会で比較的弱い立場に置かれた人々としている。

私はなぜそういった人たちをターゲットとしているのか疑問に感じた。そこでインターネットで調べると、第二次世界大戦後、産業空洞化で街は荒廃、コストダウン化し、市街地のスラム化、若者労働の滞留など様々な問題が重なりあったそうだ。

そこでこのプロジェクトは都市再生を願う市民力で成し遂げたそうです。都市の復活力は過去の出来事をターゲットとし、生かすことで成功へと導くきっかけになったと思う。(Toguchi)



Manchester

マンチェスターの事例を読んで、「URBIS」のような地域の人たちの生活に根ざした施設が日本にはあるのか。と疑問に思った。「地域の発展のため」と言って行政が公共事業で立派な施設を作っても、その地域に住んでいる人たちがどのような人たちなのか、施設に対してどのような要望を持っているのか汲み取ることができないと施設を作っても何も機能しないと思った。

URBISはちゃんと現地の人たちのニーズに応えられるような場所、空間づくりを心掛けていたので成功したのだと思う。また、「先行事例がないので、すべて自分たちで発見しなければならぬ。日々試行錯誤の連続です。」という関係者の言葉が印象的だった。(Momono Higa)



Manchester

これまでに見てきた例とは少し異なり、現在発展途上の例だと感じた。この惨状から立ち直ろうと努力している姿は、東北大震災の復興モデルのひとつとして活用できないだろうか。日本では助成金が最も話題となるが、それよりも、国民に希望を感じさせるようなプランの着想にもっと力を入れるべきだ。

先日、NHKで**国立デザイン博物館**を作ろうと、三宅一生はじめとする様々なデザイナーなどをみた。とても明晰で、日本人として誇らしく思った。そのような人々と、国家をあげて協力しなければ、ボランティアや寄付金もただ消費され、微力にしかない。世界には様々な観光先進国があるのだから、**日本も観光立国を掲げたのなら、このようにもっと話題性も考えたプランで盛り上げていくべきだ。** (Togawa)



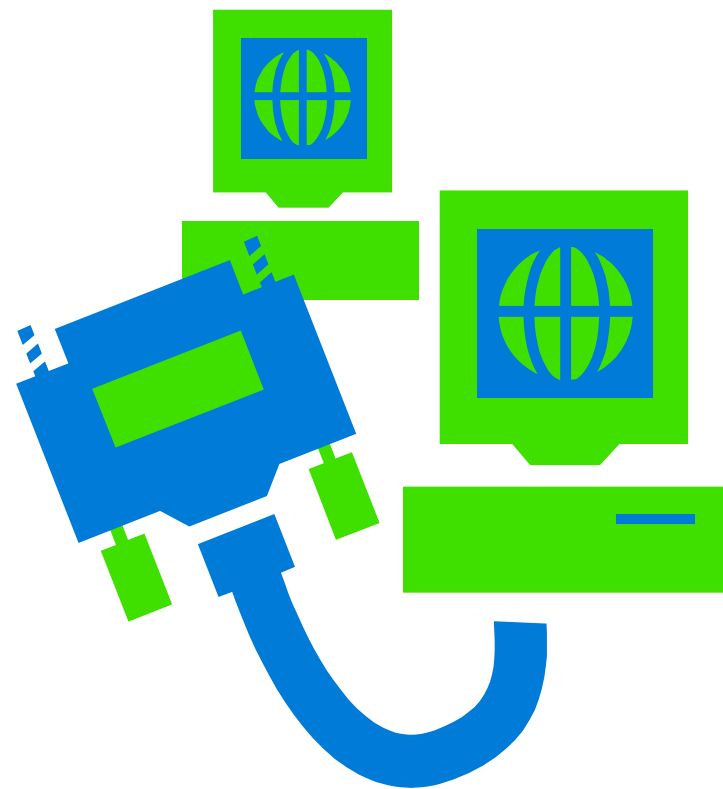
Manchester

マンチェスターは**爆発テロ**という大きな事件を逆に**チャンス**へと変え、**都市開発**を始めた。幸い死者がでなかったものの建築などは勿論大きなダメージを受けた。しかし、これをきっかけにURBISという都市ミュージアムを設けたことはマンチェスターのおおきな成功の一つであったと思う。前回のニューキャッスルのように**建築から都市の文化や歴史を伝えていく**アイデアも私は面白いと思った。

だが、今回のマンチェスターは都市で暮らす市民の生活に焦点を置き、その活動の場として施設を建設している。さらにそこは、ただの展示スペースとは異なり都市における生活やそこに生じる課題などをリアルタイムで伝えていくことが目的だ。そのために1階のフロアはわざと広いスペースを設けている。そうすることで、常に市民がその場を自由なスペースで様々なことに活用することが出来る。

まさに**固定された常設室**ではなく**自由度の高いスペース**であると感じる。沖縄にある基地が返還された際、この広い敷地を使っていくかということはこれからの沖縄にとって、とても大きな希望であり、分かれ道でもあるのではないかと感じた。(Haruka Taira)

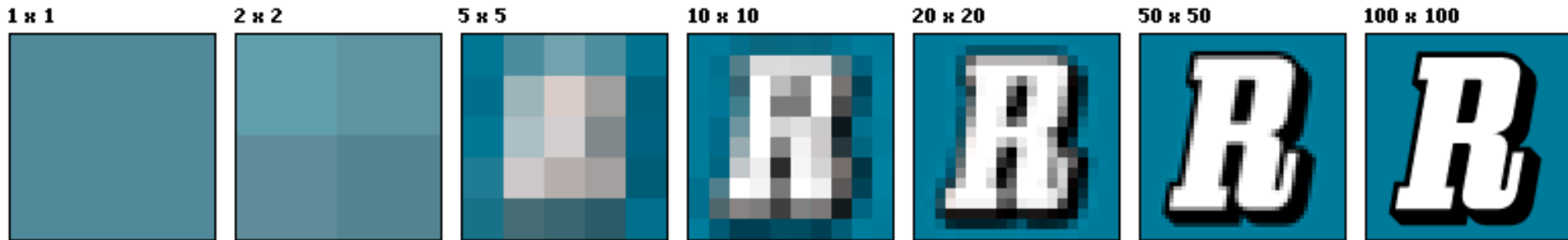
ホームページ



画像の話 ①ピクセル

- 画素(pixel count / resolution)

画面の縦と横を小さな範囲に区切った領域それぞれに色や明るさの数値を与える。



| デジカメにおける時代 | タテヨコ | 画素 (解像度) | 写真の 大きさ | 年代 |
|--------------|-------------|-------------|------------|--------|
| 10万画素(CGA) | 360 x 240 | 905,200 | | 1997年頃 |
| 30万画素時代(VGA) | 640 x 460 | 307,200 | | 1999年頃 |
| 100万画素 | 1280 x 760 | 972,800 | L版 | 2000年頃 |
| 1,000万画素 | 3600 x 4000 | 14,400,000 | A3版 | 2005年頃 |

②画像のサイズを変えるには

[宮国の画像ホームページ](#) [Lecture11¥regional_site.html](#)

1. 2004年に撮ったアラスカの写真です。

```

```

(1,280 x 980)

1,254,400画素

612KB

2. 2004年に撮ったアラスカの写真です。

```

```

(350x250)

875,000画素

612KB

ペイントで加工した画像を使った場合。

3. 2004年に撮ったアラスカの写真です。

```

```

(384x 288)

110,592画素

62KB

画像の大きさや重さ(メモリー)を知る！

①写真をそのままのせました。(125万画素)(618kb)



②写真は加工していないが、**メモ帳上で幅と高さを調節**しました。でもメモリーは重い。(125万画素)(618kb)



③目指すはこれ！

写真は**加工(サイズダウン)**して38万画素のものをそのまま載せました。メモリーは軽い。(36kb)

演習③：画像を小さく加工してみよう！



1.スタート→アクセサリ→ペイント

2.メニューバーよりファイル→開く・・・加工したい大きな写真ファイルを選ぶ(どれでもよい)

3.開いたら、カーソルを絵の一番右下にもっていき、何ピクセルあるか見てみよう。(元のファイル: ピクセル)

4.メニューバーよりサイズ変更 → ピクセル 幅400にしてみよう

5.開いたら、カーソルを絵の一番右下にもっていき、何ピクセルあるか見てみよう。(現在のファイル: ピクセル)

6.名前を付けて、わかりやすい名前で保存

7.スタート→アクセサリ→エクスプローラ

8.ホームページが入っているフォルダーを画面の左欄でクリックし メニューバーより表示 → 詳細 ピクセル数が減少していますね!

演習 ④写真と画像をホームページに入れよう！

メモ帳に書くこと

ここには画像
ファイル名を入
れる

私の紹介

```

```

ファイル名、命名の4原則

1. 直接入力
2. 英字(漢字・かな・カタカナは使用しない)
3. 正しい拡張子があるか確認する。
4. スペースやハイフンを使う場合、代わりに Under bar を使う。
5. 大文字と小文字の区別(実際のfile名とメモ帳に書くfile名は同じにする)

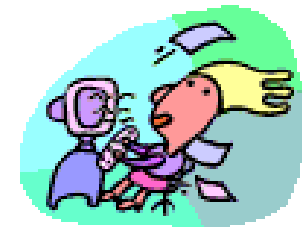
画像の取り込み方

A. 自己紹介にあう画像をひとつ「できるホームページ」のCDから入れてみてください。p160と265以降を参照しながら

CDを持っていない人は ウェブ上の著作権フリー素材集から画像をUSBに保存して、ホームページに画像を入れてみてください。検索エンジン(Google・Yahoo)で keywordを「著作権フリー 画像」と入れてみる。

B. 先週、ペイントで作成した画像も入れる。(配置はお任せします)

演習⑤ Index.htmファイルを作成する



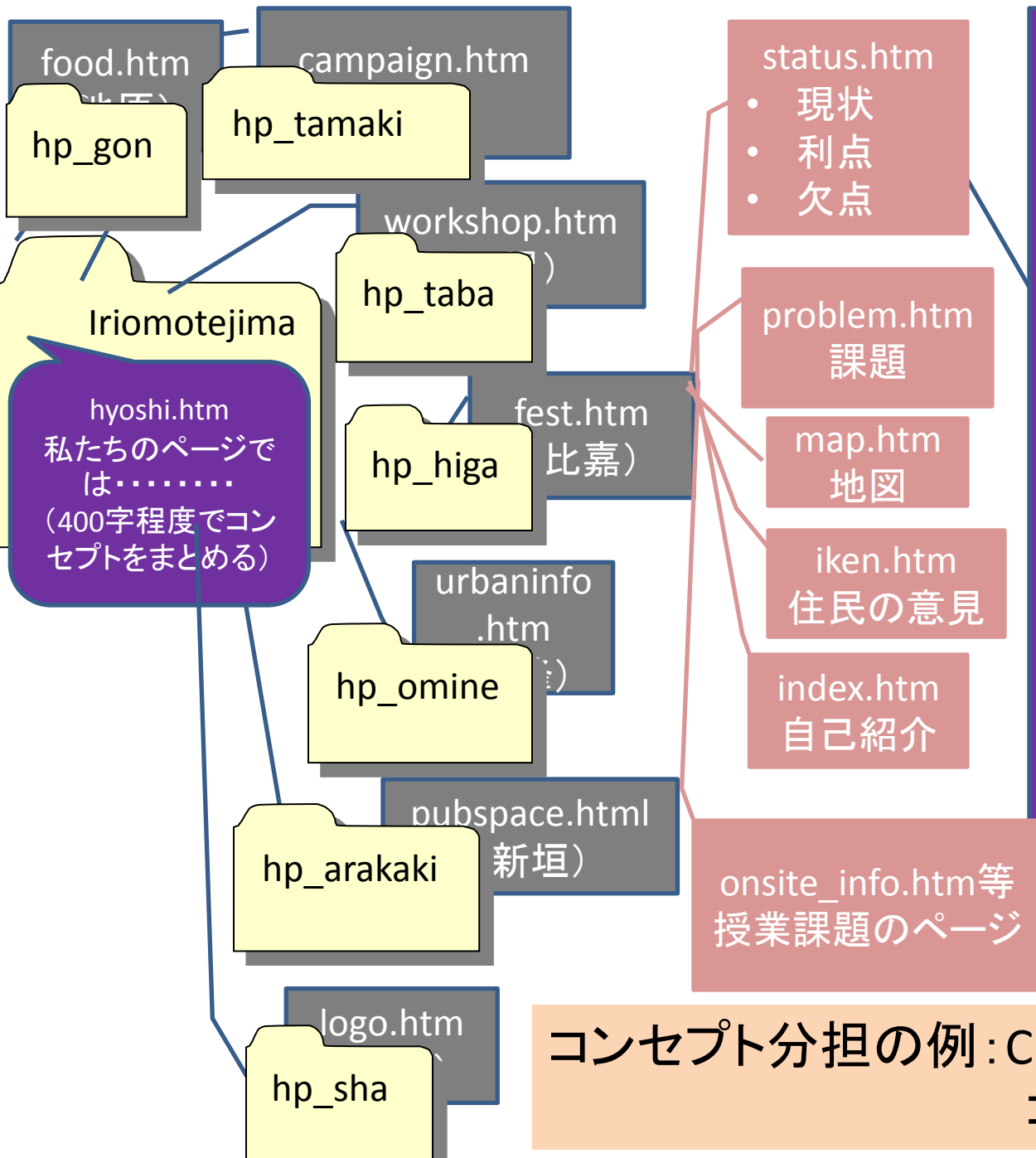
自己紹介のホームページを簡単に作り、[index.htm](#)と名前を付けて保存。

- ①写真や似顔絵を入れる
- ②自己紹介を簡単に書く
- ③onsite_info.htmへのリンクをつける。(先週のプリントを参照)
- ④Ideal_trip.htmへのリンクも付ける。
- ⑤「Civic Pride」へのリンクを付ける
- ⑥グループのページトップのファイル名をグループで考えて下記に記入する。
- ⑦(ファイル名:)
- ⑧グループのページトップへのリンクをつける。

期末プロジェクト提出の基準



1. 最低限必要なファイルと内容
 - A. グループの表紙ページ(日・英)にその「観光情報のコンセプト」が示されていること。
 - B. 個人の表紙ページ(日・英)
 - C. リンク先のページ(内容のページ3枚以上)(日・英 計6枚)
 - D. 参考文献のページ(reference)(日・英)
 - E. ホームページ作成後の感想(日・英)
 - F. 自己紹介ページ(index.htm)(日・英)
 - G. 容がオリジナルで、フィールド調査にもとづいたものであり、観光情報にふさわしいものであること。
 - H. Reference(参考文献)のページを載せる。参考文献はWebだけでなく紙媒体から集める(2つ以上・著書、ガイドブック、無料情報誌。パンフレット等)。
2. ファイル名は英数小文字でつける。スペースやハイフンの代わりにUnder bar
3. 個々人のページには、必ず下記の4つのページへのリンクをつける。
 - 「次のページ」に行くリンクボタンと「前のページ」に戻るボタン
 - 「Topに戻る」・「自己紹介(課題のページへのリンク含む)」・「Reference」に行くボタン
 - 各ページに「英語のページ」に行くボタン(「英語のページ」には「日本語」へ行くボタン)(タイ語や中国語も可)



- status.htm
 - ・ 現状
 - ・ 利点
 - ・ 欠点
- problem.htm
 - 課題
- map.htm
 - 地図
- iken.htm
 - 住民の意見
- index.htm
 - 自己紹介
- onsite_info.htm等
 - 授業課題のページ

私のページでは.....

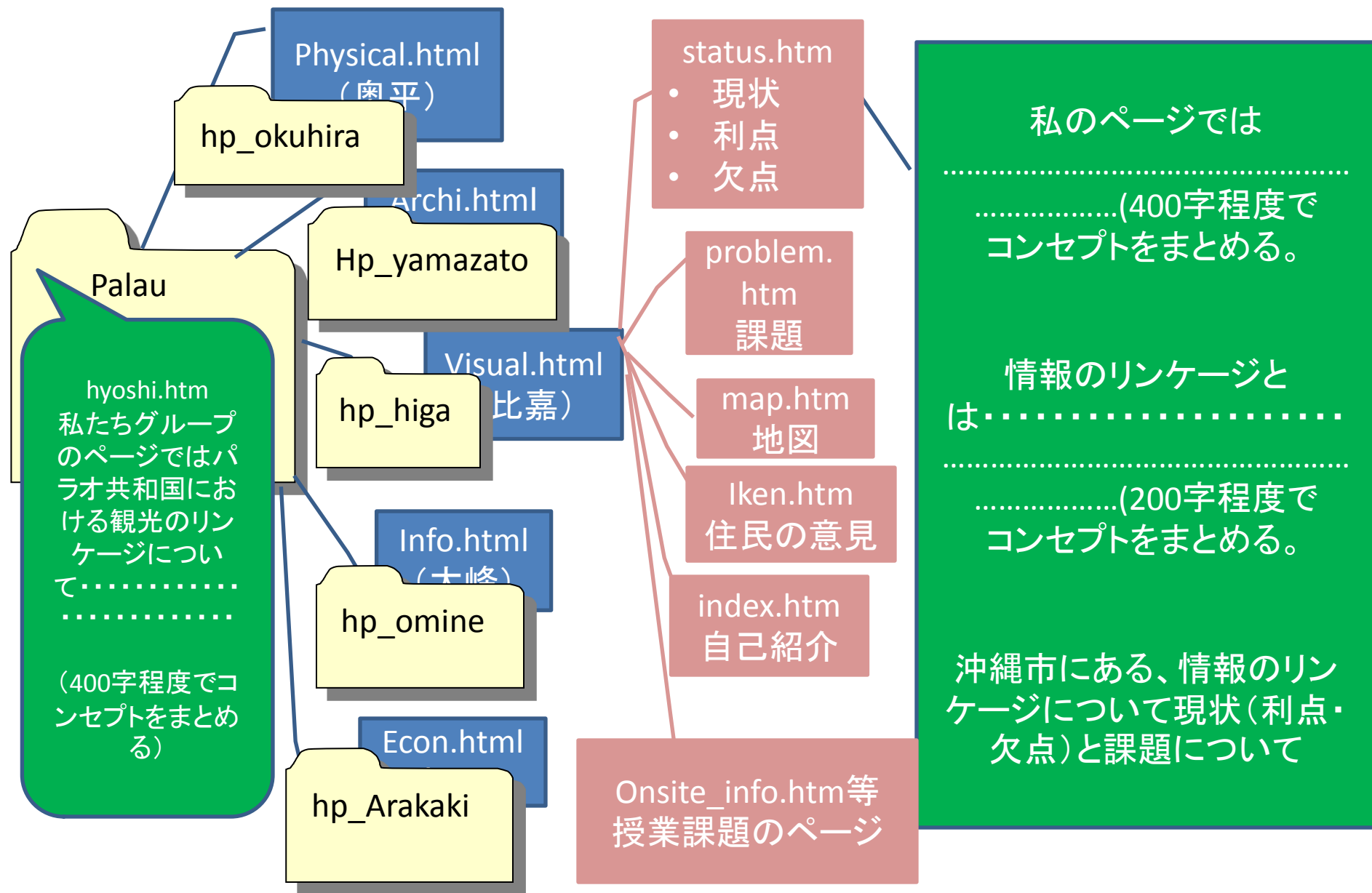
.....(400字程度でコンセプトをまとめる。

情報のリンケージとは.....

.....(200字程度でコンセプトをまとめる。

沖縄市にある、「祭り」の現状 (利点・欠点)と課題について

コンセプト分担の例 : Civic Prideの
コミュニケーション戦略

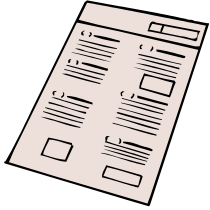


コンセプト分担の例： 観光リンケージ



期末発表 Schedule

| 発表日 | グループ テーマ | 表紙ペー ジのFile Name | 班長 | 副班長 | 総務① | 総務② | 総務③ |
|-------|---------------------|------------------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 7月2日 | 1.グルメの 旅 | | 三上茜 | 神田珠希 | 大城梨 菜 | 十河有沙 | 福澤滯 |
| | 2.沖縄 | | 宮平滉也 | 西島真大 | 玉城 | 大西晃雄 | |
| 7月9日 | 3. | | | | | | |
| | 4. | | | | | | |
| 7月16日 | 5.韓国 Beauty Trip | Beauty.ht m | Kwon Jaeyeon | 新垣玲央 菜 | 大嶺ゆ い | 比嘉由美 子 | 盛根温 子 |
| | 6.パリジェン ヌ | 名城志穂 | 伊差川幸 知 | 平良春華 | 渡久地 杏奈 | 神谷遥 | 砂川朋 代 |
| 7月23日 | 7.沖縄 | Cover.htm | 平良麻美 子 | 上門拓実 | 石原昌 紀 | 前田成 | 佐久田 りか |



課題

1. Civic Prideの事例「Bordeaux」についてまとめと感想を civicpride.htmに付け加えて、メールで提出。

まとめ(400字程度)

感想(300字程度)。

2. 期限:6月9日(日) 11:59pm

5. 件名:観光情報論__Bordeaux

6. メール先:kaorukom@eve.u-ryukyu.ac.jp

演習 ⑤動画や音をホームページに入れよう！

(余裕のある人は家でやってみてください)

メモ帳に書くこと

私のおすすめ動画

```

```

```

```

ここには動画
ファイル名

Flash file

私のおすすめのサウンド

```

```

ここには音楽
ファイル名

画像の取り込み方

- 著作権フリー素材集からビデオや音楽をUSBに保存して、ホームページに入れてみてください。検索エンジン（Google・Yahoo）でkeywordの欄に「著作権フリー」や「midi」「mpeg」を組み合わせで検索する。